

商業科の生徒が流通経済大で特別講義を受けました（7/10(水)）

7/10(水)、商業科の1年生40人が、流通経済大学龍ヶ崎キャンパスで、地域活性化に関する特別講義を受けました。本校のMyりゅうプロジェクトの一環として行いました。内容は、最下位に甘んじる茨城県の魅力度向上をめぐり議論を交わすとともに、考えたアイデアを発表するというものでした。

講義は経済学部に加藤祥子准教授が担い、6年連続で最下位となった原因をグループで分析し、「農業など全国に誇るものがありながら関心を集められていない。」「若者から注目されるコンテンツが少ない。」といった意見を出し合いながら、打開策を提言しました。

生徒たちからは、「大学といういつもとは違った環境の中で講義が受けられて新鮮だった。」「地域の活性化を考えるよいきっかけとなった。」などの感想が聞かれました。講義終了後は、大学の計らいで大学生の案内で構内施設を見学し、学食で昼食をとり学校に戻りました。なお、当日の様子は、7/13付けの茨城新聞に紹介されています。



流通経済大学で一番新しい校舎を使っての特別講義です



グループ討議の様子



加藤准教授が生徒の意見にコメントしながらまとめていきます



講義終了後、施設見学と学食で昼食をとりました